令和7年度　大阪府立箕面高等学校　第1回学校運営協議会　議事録

校名	大阪府立箕面高等学校
校長名	大川　智

開催日時	令和7年7月11日（金）　14:00～16:05
開催場所	大阪府立箕面高等学校　校長室
出席者（委員）	湯峯会長、石橋副会長、星川委員、森委員、黒田委員、堀越委員
出席者（学校）	大川校長、飯田教頭、橘事務長、千葉首席、佐籐首席、松田進路指導主事
傍聴者	なし
協議資料	資料1　大阪府立箕面高等学校　学校運営協議会　実施要項 資料2　保護者からの意見書 資料3　令和6年度　進路実績 資料4　令和8年度使用教科用図書の選定状況 資料5　令和7年度学校経営計画 資料6　令和7年度学校教育計画 資料7　令和7年度の重点政策 資料8　学校特色枠 資料9　スクールポリシー
備考	特記事項なし

議題等（次第順）
1.　保護者からの意見書提出状況 2.　令和6年度　進路実績（資料3） 3.　令和8年度使用教科用図書の選定状況（資料4） 4.　令和7年度学校経営計画（資料5、6、7） 5.　令和10年度新入試制度について(資料8、9) 6.　その他

協議内容・承認事項等（意見の概要）

（1）　保護者からの意見書提出状況

○　保護者から教科書、カリキュラムについての意見書が各1通あったので、後の(3)であわせて報告させて頂く。

（2）　令和6年度　進路実績（資料3）

○　資料3を説明

現状として、評定の高い生徒が国公立志望を指定校推薦に変更するパターンが目立った。生徒自身にビジョンがあり、考え抜いて指定校推薦が最適解だと判断したならば良いが、流されて指定校を選ぶことは好ましいことではない。また、公募制推薦でめざしたい大学を受ける生徒は多いが年内に終わらせたいと言う生徒も一定数いた。進路指導としては、生徒が自分自身と向き合い今後の人生を含めて出来るだけ果敢に挑戦するように促している。

☆　意見・質問等

・海外の大学に一番近いというものは今、どうなっているのか。

⇒今は4、5人合格している。OB や OG の方達がセミナーを開いていて、本校生徒だけでなく他校にも広めている。そこがグローバル科を持つ本校のミッションでもある。

（3） 令和8年度使用教科用図書の選定状況（資料2、4）

○ 教科用図書の選定は資料4の理由のとおり、この時期に各教科担当が選定している。

○ 資料2の意見書にある「副教材の選定理由」「教育課程について」の説明

例年、前年の2学期末から3学期にかけて教員が次年度のシラバスを作成している。その際に教科書を補完する副教材を選定している。副教材選定理由は教科用図書選定に準じている。教育課程については、過去に文系で地理探究の選択を可能にしていたが、例年希望者が非常に少なく非開講の年が10年近く続いたため、現行の教育課程にしている。

☆ 意見・質問等

・これは前年度に副教材が決まってしまうということか。翌年度使うときに量が多かったりわかりにくい、全く使用しないという問題がでるのではないか。

⇒使い方に関して一つひとつ確認することは難しいが、1年間の使用計画を教科ごとに決めており、計画通りの使用をするように努めている。前年度に選定して教育員会に届け出をして認めてもらうため、教科書も副教材も当該年度で変えることはできない。

・文系は3年生で地理探究が選択できないのか。

⇒できない。私立大学の文系受験を考えると、受験科目で地理を選択できることが少ないため、文系の生徒が地理をあまり選ばないというのが本校の傾向である。そうした中、文系の3年生では地理探究がずっと開講されてこなかったので、現行の教育課程にした。

（4） 令和7年度学校経営計画（資料5、6、7）

○ 資料5、資料6は昨年度のものと概ね同じである。

資料7はさらに注力するポイントを、全教職員に新年度すぐに示したものである。

・全校挙げての探究事業の取組みの充実化と教科科目横断的教育の推進
・マニュアルとICT 活用による業務効率化
・教員間の業務平準化推進
・生徒の国際感覚や語学力強化
・生徒指導の更なる充実

（5） 令和10年度新入試制度について(資料8、9)

○ 現在の中学1年生の学年が入試を迎える時（令和10年度入試）から入試改革をし、学校特色枠を設ける。各校のアドミッションポリシーを踏まえて特に求める生徒像を提示し、それに合致する者を優先的に合格させるというもの。また、第二志望が選択できるようになる。

☆ 意見・質問等

・進学校の中で生徒の取り合いになると思う。箕面高校と成績の近い高校がどういう動きをするのか気になる。
・最近、私立高校の先生がみんな笑顔であるように感じる。私立の無償化で公立をチャレンジしてダメなら私立に拾ってもらえるというのが一つの現象となっているかもしれない。
・結局保護者が見ている高校の情報の一番は、大学の進学の実績になる。その数字を結果として出してくるかということなので、決して楽しい行事がたくさんある学校だけをめざしているわけではない。入る時にはその先を見据えて選択をしているなというのは感じることがある。

この後、学校特色枠の了解を得た。

（6） その他

特になし。

次回の会議日程	
日時	令和7年11月21日（金）を予定
会場	大阪府立箕面高等学校　校長室